思春期相談マップを活用される皆さんへ

思春期相談マップ作成にあたって

子どもたちを取り巻く社会環境や生活様式の急激な変化は、不登校やいじめ、喫煙、飲酒、薬物乱用、性の逸脱行動、児童虐待など子どもたちの心身の健康に非常に大きな影響を及ぼしております。

特に、思春期にある子どもたちは、身体的にも精神的にも最も変化の激しい時期であることに加え、性情報の氾濫などにより「性」に関する現状は性交に対するハードルが低くなっており、結果として望まない妊娠や性感染症の罹患が多くなっている状況にあります。

思春期の子どもたちは、揺れ動く感情を言葉では上手に表現できず、自分の胸にしまい込んでしまうこともよくあり、特に性の悩みは問題が深刻化してから相談するといったことも多くなっております。

このような状況を踏まえ、平成１７年３月に福島県産婦人科医会思春期保健委員および福島ＳＴＤ研究会の先生方等に御協力いただき「思春期相談マップ」を作成いたしました。

日常的に思春期の子どもたちの様々な相談に対応している小・中・高等学校の養護教諭等や市町村・保健福祉事務所等の保健関係者、その他の関係機関の皆さまが対応に困ったときに活用していただき、学校や地域、医療機関が良好なコミュニケーションを図りながら対応していく糸口となれば幸

思春期相談マップの活用の仕方

◆この相談マップは、子どもたちから相談を受けた教諭、養護教諭および行政機関の保健師等、思春期保健に携わる皆様が対応に困ったとき、よりよい解決方法を導くために御活用ください。

◆相談マップは、県内６つの地域に区分し、産婦人科・泌尿器科・精神科・思春期外来・助産師会・保健関係機関の相談窓口を掲載しています。

◆それぞれの相談窓口で、相談受付時間・方法が異なりますので、確認の上、御相談ください。

◆各学校等での健康教育の際に、専門職の協力が必要な場合は、個別に連絡を取り、調整を行ってください。

◆相談マップを活用される皆様からの相談は、原則無料ですが、診療に結びついた場合の保険診療分や講演料等、有料となる場合がありますので、よく御確認ください。

